

令和3年度
2月号



六瑞小だより

令和4年2月1日発行
荒川区立第六瑞光小学校
校長 佐野 実
第354号

今日がたのしく 明日もうれしい 六瑞小

<http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/DAI6ZUIKO-E/>

大切にしたいこと

副校長 関川 浩

先月1月6日に雪が降り、まだ新学期前で児童を迎え入れていない学校が徐々に真っ白になっていきました。夕方退勤するころには校庭は白銀の世界と化していました。きらきらと光る雪の結晶がきれいです。翌朝職員室のカーテンを開け校庭を見ますと、昇ったばかりの朝日が校庭の雪の上にゆるやかに差し込んでいました。その美しさに惹かれ思わずカメラで撮影をしました。新学期のスタート前に、心洗われるような自然との出会いに感謝し、心新たに新たな年の出発をすることができました。

昨年12月から2か月にわたって、児童は学芸会の練習に励んできました。そして全ての教職員は学芸会を成功させるための準備をしてきました。1月28日に児童鑑賞日、29日に保護者鑑賞日の予定でしたが、残念ながら新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、劇の取組は1月27日で終了とさせていただきました。皆様残念な思いをされたことと思います。何卒ご容赦ください。

学芸会は中止にはなりましたが、学芸会の取組をとおり、児童は一段とたくましく成長してくれました。私がおのうように思う根拠は職員室で耳にする教職員の会話の内容です。具体的な児童の姿を挙げながら、児童の頑張りを話していることが多くありました。担任にしかわからないこと、また担任だからわかること、私の経験上担任には必ずあると思います。そして児童が頑張っているうれしさを自分一人のものにはしておけないものです。さらにそれを聞いた他のクラスの担任もうれしくなります。このような「喜びの連鎖」が学校を明るくしていきます。学校行事がもっている、学校を育てる力をあらためて感じた学芸会の取組でありました。今後学芸会の取組の様子を保護者の皆様にご覧いただけるようにいたします。

一年のまとめの三学期です。学校評価アンケートへのご協力もありがとうございました。保護者の皆様や地域の皆様から寄せられる貴重なご意見を心に刻みながら、皆様に愛される六瑞小をつくっていきたくと思います。そのために、自らが成長し、よい学校づくりを進めていきます。今後とも深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2月の行事予定 *今後の状況によって、変更する場合があります。(2/1現在)

1	火		15	火	
2	水	オンライン授業期間	16	水	なかよしデー(8) 幼保小中交流会
3	木		17	木	金管スタート集会 学校保健委員会 ◎
4	金		18	金	ブックメニュー週間(終)
5	土		19	土	授業公開日(9) 体力向上週間Ⅲ(終)
6	日		20	日	
7	月	オンライン授業期間	21	月	6年生を送る会 ★
8	火		22	火	校外学習④
9	水		23	水	天皇誕生日
10	木		24	木	歯科検診① ◎
11	金	建国記念の日	25	金	卒業を祝う会
12	土		26	土	
13	日		27	日	
14	月	クラブ(14) ブックメニュー週間(始) ☆	28	月	委員会(11) ☆

◎:都スクールカウンセラー内藤先生 原則毎週木曜日

☆(午前)★(午後):区スクールカウンセラー高田先生

歯と口の健康づくり

3・5年生を対象に、本校歯科校医の佐藤先生とサンスター財団の歯科衛生士さんにおし歯の成り立ちや予防方法について授業を行っていただきました。

授業の最後の確認テストは多くの満点でした。おうちで行った赤染めでも多くの学びがあったようです。これからも継続して予防に努めていきましょう。



席書会

人権尊重教育推進校である本校の校内研究会の講師としてご指導をいただいている鈕持勉先生にお越しいただきました。今回は、書初めの講師として、3年生～6年生、すずらん学級の子供たちに、書初めの意義や形を整えて書く、書き方を教えていただきました。練習の成果もあり、一人ひとりが思いを込めて、作品を仕上げることができました。

学 芸 会

すずらん ももたろう

すずらん学級では、本番に向けて、2学期の終わりからみんなで取り組んできました。子供たち同士で、それぞれの役毎にどんなセリフにしたいか、どんな動きにしたいかを考え、話し合いながら、すずらんバージョンの「ももたろう」を作り上げてきました。動物たちの特技や鬼のエピソードも見ごたえある仕上がりになりました♪

1年 わるいかいぞくと いいかいぞくと
元気いっぱいな子供たちと、話し合いながら、セリフを変えたり踊りを加えたりしながら取り組んできました。そうすることで、子供たち自身が満足できる劇に仕上がりました。

初めての劇でしたが一人一人が楽しく演じることができました。



2年 パオパオの木

一つ一つのセリフの意味やその場面での登場人物の心情を、みんなで話し合いながら取り組んできました。動作や衣装は、子供たち自身で考え、お互いにアドバイスをするなど協力して作り上げました。



3年 寿限無

練習の段階から、子供たち一人一人がしっかりとセリフを覚え、気持ちを込めて大きな声で演じていました。道具の出し入れ、舞台上の照明など自分達にできることを積極的に取り組みました。本番では、心を一つに感動的なステージを作り上げることができました。

4年 地獄のそうべい

4年生は、絵本の世界観をそのままに、セリフの言い回しやイントネーションを考えました。また、より相手に伝わる表現方法や動作を考え、演じます。小道具や大道具など、子供たちのアイデアを生かして、作り上げました。

それぞれの役柄のよさが伝わる作品になりました。

5年 進級免許

「見ている人も物語に入り込んで楽しんでほしい」そんな思いを胸に日々の練習に取り組んできました。場面ごとの雰囲気に合わせて、声色を変えたり、登場人物の雰囲気に合わせて口調を変えたりして演じることを楽しむことができました。また、照明や小道具なども自分たちで考え、用意しました。

本番も、これまでの練習の成果を発揮し、仲間と創りあげることができました。



6年 人間になりたがった猫

セリフや動きの表現の仕方はもちろん、照明や衣装、小道具など、自分たちで考えて取り組んできました。友達と協力し、より良い作品にするために、最後まで何度も話し合いを重ねました。それぞれの良さが光る、素敵な作品となりました。

小学校生活最後の学芸会、これまでの学びを生かして、一人一人が力を発揮することができました。

